

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

抗がん剤誘発末梢神経障害に及ぼす生活習慣病治療薬の影響の検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山 隆（病院長）

【研究責任者】 田中 守（薬剤部 薬剤部長）

【研究代表者】 石澤啓介（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野 教授、
徳島大学病院薬剤部 薬剤部長）

【研究の目的】

過去に当院を受診され、抗がん剤であるオキサリプラチンを使用した治療を1コース以上実施した患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、オキサリプラチンによって発症する副作用である末梢神経障害に、生活習慣病治療薬がどのように影響を与えるか評価する研究を行うことといたしました。この研究は抗がん剤による末梢神経障害に対する有効な治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2009年4月から2019年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち抗がん剤であるオキサリプラチンを使用した治療を1コース以上実施した患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、既往歴、使用薬剤、血液検査データ、副作用有無 等

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、名前や住所など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、パスワードを付加した電子ファイルにて **CD-R** に保存して徳島大学病院に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 飛鷹範明

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 飛鷹範明

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5731